会報第13号

日台友好親善交流團 **〒やかに開会** • 吟剣詩舞道大会

当日は晴天に恵まれ温暖な気候の下、大勢の若者、特に女性が集まった。 は日本側加藤美智子、台湾側檀上典子氏が当たった。 の他受付など総数3名のボランティアの協力で進行した。プロデユース は李涵穎、藍苡禎氏他4名に、ヘアーは肯邦国際公司の4名の方々、そ 理事の星野紫虹が会長を務める詩吟・紫虹会など及び装美着付研究会の 飯店(Howord)で開かれ、500人を超える参加者で盛り上がった。 でおこなわれた。着付のモデルは亜東技術学院の皆さんが参加。メーク メンバーと台湾の関西吟詩文化協会旭彩会台湾支部の皆さんの参加協力 この大会は協会が日台文化交流活動の一環として行ったものである。 日台友好親善交流團・吟剣詩舞道大会が5月26日、台湾台北市の福華

に進められた。 オープン後の司会はプロで日語汊語が堪能な鈴鹿玉鈴氏によって円滑

式典では協会の田代實範理事長があいさつした。そして旭彩会台湾支 部代表の田中彩秀氏と互いに記念

品を贈った。また来賓のご挨拶も

いただいた。

会の 目を引いたのは玲蘭日本舞踊研究 吟と舞のコラボレーションである。 からは関西吟詩文化協会会員の詩 成果を発揮し舞台を飾った。台湾 れた。日本の出演者は日頃研鑽の 物の着付けと帯結びの技が披露さ 成吟の書道吟・華道吟、それに着 舞台では吟詠、 柯美真氏による華麗な衣装 剣舞、 詩舞、

> 終えて幕を下ろした。 第2部懇親会は出席者が150名

を楽しんだ。 スタイル、舞台では台湾の若泉流フ くつろいだ雰囲気の中に後半の時間 名の踊りに日本の歌謡吟詠が続き、 パーティはバイキング形式の着席

くつかいただいた。 会の前途に期待する熱いことばもい 者でいっぱいになりにぎわった。協 会場は多くの参加者と各会の応援

来賓出席者 (敬称省略)

台北市立法委員

台北市 副市長

鄧 姚

文智

局長

前亜東関係協会秘書長 台北市政府観光傳播局 簡

坤燦

余晏 家基

公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所 台湾日本人会 事務局 林 理果 文化室 清重・塩澤

公益社団法人日本関西吟詩文化協会旭彩会台湾支部代表

田中秀子

亜東技術学院 校長 台湾高座台日交流協会 理事長 茂全

中国信託商業銀行 跨国金融事業部

陳

中堅

林

国立臺北芸藝術大学 友愛グループ 代表 建築興文化資産研究所副教授

スタンドお祝い花を送っていただいた方々。 福華大飯店 名誉董事長

私立復興実験高級中学 台北駐日経済文化代表處 代表 謝

有限会社大山 代表取締役 農川 玉蘭

1 対

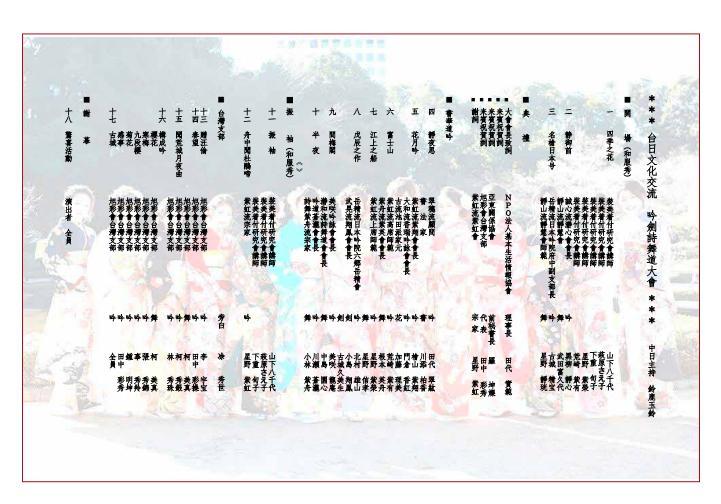
四季の花 モデルと講師 着付け

満員の会場



た。外国で実施した本大会の実績は必ずや将来の糧になるものと信じております。 ものでした。 ありました。日本側の努力も然ることながら台湾の方々のご尽力は特筆すべき 会にお運びいただいたご参加の皆様のご協力に心から厚く御礼申し上げます。 た方々、準備に当たっていただいた皆様、関係機関のご支援くださった皆様: した吟剣詩舞道大会に関しまして一言御礼を申し上げます。 特定非営利活動法人ベーシックライフインフォメーション協会
理事長 各 ここに心から厚く御礼申し上げます。 この会にご出演いただきました方々、その演技が映えるよう支えていただい この成功はご協力いただいた皆様のお力によるものです。 皆様の温かいご支援で日本の伝統芸術を台湾の方々に披露することが出来まし 本大会は日本で企画しました。これを台湾で実施するのは難しいことが多々 さる5月26日、台湾台北市で行われた協会主催の日台親善友好交流を目的と 大会は予定通り実施され500人以上の参加者で盛会になりました。 位 田代

御礼のことば



平成29年8月6日 BLI協会報第13号



謝辞 紫虹流宗家 星野紫虹



羅坤燦氏の挨拶



NPO法人理事長 田代實範関西吟詩台湾支部代表 田中彩秀氏記念品交換



華道吟 花と加藤理英



書道吟 吟·田代翠紘 書·川添拍香



振袖の袋帯の女性群から



詩舞 吟·星野紫栄 舞·星野信孝

平成29年8月6日 BLI協会報第13号



挨拶 モデル協力の亜東技術学院校長 黄茂全氏



吟舞の柯 美真氏



剣舞の達人 小島翔鳳 古城久実生



台湾の吟の紹介をする 涂秀世氏



構成吟 関西吟詩台湾支部の皆さん



フィナーレ・出演者一同

吟剣詩舞道大会参観記

会員(当日参加者)真島久美子

が発生した。 まったため、リハーサルの時間は賞味1時間半という異常事態大会開催の当日、前のイベントが二時間以上もずれ込んでし

果たしてくれた。番となると、さすが若い人たちの柔軟な感覚で、見事に大役を分からずに戸惑う彼女らを見て若干の危惧を感じたが、いざ本さんたちに、星野紫虹先生の厳しい声が飛ぶ。日本語の指示が4時の開始時間に間に合うのか、舞台に上がっているモデル

大会の幕開けは、無地の着物ショーからである。

がった。いて帯の花を見せると、観客席からは一斉にどよめきの声が上いて帯の花を見せると、観客席からは一斉にどよめきの声が上等々、大輪の美しい花々が咲いていく。モデルたちが後ろを向ずらりと並んだ紫の色無地に、バラ、あやめ、ハイビスカス

すらりとした着物姿をご披露。り、星野先生の紹介を受けて舞台を降り、観客席を歩きながら、次には振袖の着付け。これも見事に着付けられ、ひとりひと

仕組んだ、うれしい偶然だった。ている人には、心憎い演出と見えたことだろう。これは神様がボルということを知らずして、そうなったことだったが、知っ最後に残ったのは、蝶々柄の振袖だった。蝶々が台湾のシン

人たちに送っていた様子も、いかにも今風の大学生らしい。控室では、お互いにスマホを向けながら写真を取り合い、友

がっていた。 斐あって、日本人から見ても全く違和感ない、美しい姿に仕上さを出すように心がけました」と、その工夫を語った。その甲メイク担当の男性は、「日本の着物は伝統衣装なので、優雅

くれた。

くれた。

くれた。

くれた。

くれた。

会場から、割れんばかりの拍手をいただいた。活け、さらに川添監事が書道吟で筆を揮った。素晴らしい技に当協会からは、田代理事長が詩吟、加藤理事が華道吟で花を

剤のようなさわやかさで、存在感を出していた。

トップバッターは「阿嵎嶺」(涂秀世氏)である。そして関西吟詩協会旭彩会台湾支部のメンバーによる詩吟。

品であった。湾であろう」という雄大さは、まさにこの大会にふさわしい作湾であろう」という雄大さは、まさにこの大会にふさわしい作くくられる。「天と水が一緒に連なる水平線のあたりこそ、台頼山陽作のこの詩は、「天水に連なる処、是れ台湾」で締め

吟じたという作品である。田中氏が女学校時代に、出征する直前の先生が、生徒の前で次は関西詩吟台湾支部会長、田中彩操氏の「金州城」。

十里風腥 新戦場 じゅうりかぜなまぐさし しんせんじょう 十里風腥 新戦場 じゅうりかぜなまぐさし しんせんじょう 征馬不前 人不語 せいばすすまず ひとかたらず でいい の有様をうたった詩である。経験したものにしかわからない戦場の悲惨さ、それを吟じることは、死を覚悟して でき通り血を吐く思いの絶唱であり、感受性豊かな女学生に それは、言葉に語り尽くせないほどの強い印象を与えたに違いない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて ない。その思いを抱いた田中氏は、台湾で詩吟の教室を開いて

じられた。田中氏の「金州城」のあとに、辜秀玲氏による「九段櫻」が

たのです」(田中氏)だからこの人(辜氏を指して)に、『九段櫻』を歌ってもらっ「〝私の先生〞はきっと、九段の桜になっていることでしょう。

加藤理事は舞台で花を活けているとき、「母が頑張れと言っここ台湾は、間違いなくかつて日本であったのだ。

す」という。 ている声が聞こえました。母に励まされて私は花を活けたので

える聴衆を集め、懇親会にも多くの人が参加したという。大会」を開催した人である(昭和63年)。大会には五百人を超泰水」。台北市の国軍英雄館において、「文化交流吟唱剣詩舞道加藤理事の母上、加藤淑子氏は、雅号「泰山流芳山会 宗家

の台湾への愛情は、二代、三代にも渡る深さなのである。明子、大山公明両氏も湾生だ。文字通り故郷に錦を飾った彼ら事、そして紫虹流宗家の星野理事、川添監事、交流団員の藤田奇しくも大会を企画、主催した当協会の田代理事長、加藤理

紫虹氏の言葉が、大会の締めくくりとなった。この会場の片隅で、母がきっと見ている、そう信じております」、は凶歳の時に、1歳の私を連れて日本に引き揚げました。いま「私の母は、高雄生まれです。私も高雄で生まれました。母

ければ、この大会は実現しなかった。檀上典子氏に、心からの御礼をささげたい。檀上氏の活躍がなるこで台湾側での企画、運営を一手に引き受けてくださった

感謝申し上げる。 ち、ヘアメイクを担当した肯邦国際(美容学校)の皆様方にもち、ヘアメイクを担当した肯邦国際(美容学校)の皆様方にもさらにボランティアでモデルを引き受けてくれた女子大生た

花を添えてくださったことも、付け加えたい。た。加えて会場では、台湾のマダムたちが美しい着物姿で参加、湾支部の七名の皆様方が華麗な日本舞踊を披露してくださっなお現地では、大会終了後の懇親会で、新邦楽舞・若泉流台

えたものと、自負している次第である。さり、懇親会にも150名が参加。日台の文化交流の一翼を担大会には定員500名の会場に定員を超える観衆が来てくだ

に、心からの御礼を申し上げる。市長 鄧家基氏はじめ、多くの来賓の方々、そして観客の皆様最後にご来場いただいた台北市立法院 姚 文智氏、台北副

必ずまた、台湾でお会いしましょう、再見!

この筆の旅

現するかにかかってくる。 書と吟者とのバランスをどのように表 成させるという厳しい条件です。大き た。それは吟詠をする2分間に書を完 に書を揮毫することを依頼されまし 流のために華やかな演出の詩吟の世界 きました。このたび、台湾との文化交 なホールの舞台に五言絶句の二十字、 私は長い人生を書道とともに歩いて

転結のイメージの不安もあった。 る安堵を感じていた。その反面、起承 てきた。見えない心で、必ずやり遂げ 承諾した。やっていくうちに楽しくなっ 私は準備よければ成果ありの信念で 台湾は私の生まれ故郷である。人牛

りもうれしかったことは舞台を終えて 借りて感謝申し上げます。そして何よ のよい思い出になりました。この場を ロビーのところで数人の若い方が駆け 百二十秒の共演はふるさと台湾で一牛 されたことを後で知りました。兄妹の の方から兄妹の思い出の記念にと企画 筆が導かれるよう動き終わった。企画 の兄である。舞台に立つと兄の詩吟に りした書道場でもあるし、この作品物 の道のり報告ともいえる筆を持ち里帰 語でもある。書道吟の吟者は八十四歳

> 寄ってこられ、よかったという声援を 流の架け橋になれたと感じ、愛台湾の いただき、思わず第二の故郷の台湾交 記念すべき日になった。

牀 静 前 F 光

疑 地 霜

郷

低 頭

しょうぜん

うたがふらくは こうべをあげては これちじょうの さんげつを のぞみ げっこうを みる しもかと

こうべをたれては

こきょうを

おもう



大会の計画が出来るまで

=私一人ではできない=裏方の記録

日本側企画者

加藤美智子

台湾を訪問した。 構想を立てるため協会を代表して私が あった。8月28日、第1回目の大会の りをはじめたのは昨2016年の夏で ン協会が台湾で親善交流会を開く段取 ベーシックライフインフォメーショ

だいたことに御礼(合掌) た。5月26日の大会には見守っていた 会を楽しみにしたが 今夏急逝され し、快諾していただいた。(蔡氏と再 友好親善を実現したいと協力をお願い 日台詩吟大会を開く。 和と輪を通じて 台湾歌壇会長の蔡焜燦さんとの間で

実現の感触を得た。 に協力を要請し、ご理解をいただいた。 氏、陳中堅氏、鄧淑罃氏そのほかの方々 台湾では有力者の羅坤燦氏、張文芳

確認した。 おこない、日台合同で演出することを 会が当たる。台湾側は吟詠を旭彩会が 詩吟と着付けは紫虹会、装美着付研究 帰国後、早速日本側の調整をして、

員の三人が二回目の訪台をした。 まず め、2月14日加藤、星野両理事、王会 高雄の高苑科技大学で日本文化の紹介 翌年1月から2月にかけて計画をつ

> NPO法人が主催することを条件に檀 まってくださってさらに協議を重ねた。 学他二校に赴き協力要請を行った。そ 台北に戻り台日交流協会、日本人会、 受けて、進みはじめた。 上典子氏が企画者となって協力するこ 夜は協力をお願いした関係者各位が集 後の進路について意見交換を行った。 の後、檀上典子氏に会って相談し、向 に来てほしいとの相談を受けた。すぐ とになった。船は風を裏帆いっぱいに 台湾詩吟家、台北市立第一女子高級中

を第一にと私は考えた。 たり対応する。舵とりバランス、安全 日本側は全体の進路企画を万事にわ

役ともいえると強く感じた。ここに「友 げた。そこには本物の親日関係が醸し になって喜び合う姿は全員が舞台の主 好親善」という大輪の花が咲いた。 ンテアが持つ協和の精神と観客と一体 たされていると感じた、特に全員ボラ 当日は日台一丸となって会を盛り上

を申し上げます。 ご協力くださった皆様に感謝と御礼



蔡焜燦さんに相談

台 湾旅行に参加 し Ť

交流団昌 藤 紅田明子

|人で「浄土真宗| 私は東京練馬区の大泉学園で主人と の聞法道場を開

台湾旅行に誘ってくださっ

るベーシックライフインフォメーショ とうにありがとうございました。 んです。お声をかけてくださってほん ン協会の加藤美智子さんと田代實範さ ば、 私の両親は台湾で生まれ、 いつもお寺に参詣くださってい 台湾で育

おりましたので、このたびの旅行の 湾に私も一 誘いをたいへんうれしく思いました。 ちました。 後引き揚げてまいりました。 お寺で布教活動をしておりましたが 三泊したのは 戦前南方の高雄の浄土真宗 度は行ってみたいと思って 「福華飯店Howard その台

> 持 詩吟に合わせての書道、 にさせてくれるものでした。 すべてが夢の中にいるような 舞 台の 華を生

加藤さん、 することもできました。台湾の方々は やさしい、親切、 などもゆっくり見学できました。 た高雄のお寺にはゆけませんでしたが 国父記念館」や がとうございました。 日程の関係で、 の街を歩き、 もう一度行ってみたい台湾です 田代さん、 食事がとってもお 台湾の人たちとお話 私の両親が住んで 「国立故宮博物院 誘いいただきあ

氹



郭茂林(1921~2012年)

な振袖和服姿の美しいモデルさん

下に、盛大に開催されました。

華やか

十四、五

舞台に立ち並ぶ姿は圧

に帯を結ぶ、詩吟に合わせて弓を張る

詩吟を聞きながら、

振袖着物

吟剣詩舞道大会」が五、六百人参加の

)地下二階大ホールで「日台文化交流

ホテル」

でした。二

このホテル



プロフィール

わる。台湾でも超高層ビル、都市計画をけん引し、「日本、 台湾の超高層ビルの父」と深く敬愛された。

経歴

1921 台北生

1940 台北工業学校(現国立台北科技大)建築科卒 1943~46 東京大学工学部建築学科・聴講生

岸田日出刀教授:吉武泰水助教授(当時)

に師事

1946~61 東京大学工学部建築学科·助手

1962~69 三井不動産・建築顧問

霞が関ビル企画室・建築委員会幹事委員

建築学会賞受賞

(株)KMG 建築事務所設立、同事務所代表 1964~

2012 死去

2016 台湾政府総統より表彰される

一級建築士 元日本建築家協会(JIA)会員 日本建築学会終身会員 国際獅子會中華民国總會 第一届十大傑出社會 優秀貢献奨 中華民国 光華奨(2006年)



特定非営利活動法人 ベーシックライフインフォメーション協会

> 177-0041 東京都練馬区石神井町 6-12-3 TEL 03(3999)0177

http://blia.jp ブログ http//bli17.blog.fc2.com/ Facebook https://www.facebook.com/bliassoc 特定非営利活動法人 ベーシックライフ インフォメーション協会



<u>台湾と日本をつなぐ</u>

生徒も着付を体験

着付けセミナー開く 一女子高級中学で

5月24日午後、台北市立第一女

守った。セミナーは理事星野紫虹 が指導している装美着付研究会の は以前から着付授業を希望してき 会の企画で実現した。この催しに 校と姉妹校交流の橋渡しをした協 校とお茶の水女子大学附属高等学 第一高等女学校)の大ホールで同 子高級中学(日本統治時代は台北 生徒自らも体験した。 メンバーが浴衣の着付けを教え、 た北一女校長も参加され研修を見



芸品カップと校舎の写真入り額を 10枚と帯、髪飾りを、北一女は工

記念品として交換した。

以下の写真は大山公明氏提供

世瑞氏、協会理事長

これに先立ち北一女校長

徒8名で新しい体験に授業として

参加者は日本語を学んでいる生

具剣に学んでいた。

あいさつを交わし、

協会はゆかた 田代實範が

昭和5年(1930)に建てられた。



現在も使用中の校舎





日本側から北一女宛着物一式と帯の贈呈 左端加藤先生 右、田代会長と楊校長



楊校長より記念写真とペンダント贈呈



篠原武男氏

平成29年8月6日 BLI協会報第13号



襦袢姿で浴衣を持つモデルたち



帯絞め完了。バラや菊など色々な形のお太鼓。見事さに、見学の女生徒は歓声を上げる



10分間という持ち時間で、帯絞めに取り組む講師たち



時間に制限があるため、4人は予め完成させ、6名について実演が行われた



帯のかけ方を指導する



セミナー参加の生徒の皆さんと一緒の記念撮影



浴衣の後ろ姿も大切。帯の結びのバリエーションを見せる

詩吟・着物着付け研修セミナー開催 台北市北一女に於ける、

大山公明 (協会会友)

開催されたので、様子を纏めてみた。 て、詩吟・着物着付け研修セミナーが 2017年5月24日台北市北一女に

①今回訪問の趣旨

ある女子高校の事である。 女子高級中学のことで、台北市の伝統 北一女とは、正式名:台北市立第一

研修セミナーを開催した。 化に親しんで頂くため、着物着付けの に北一女を訪問した。そこで日本の文 女子高校生との交流を図るべく、24日 流吟剣詩舞道大会」26日公演を前に、 流団は、福華大飯店での「日台文化交 装美着付研究会共催の日台友好親善交 フォメーション協会と紫虹流紫虹会・ NPO法人ベーシックライフイン

②NPO法人ベーシックライフ インフォメーション協会と北 女の関係

フォメーション協会 (会長:田代實範) するNPO法人ベーシックライフイン 属高校と北一女との交流の橋渡しを初 は、平成24年秋にお茶の水女子大学付 台湾との友好・親善の促進を目的と

> であろう。 に女子高生の日本文化の理解に役立つ る。しかし、今回の北一女での詩吟・ 請を実現出来ていないのは残念であ 界的に有名であるが、予算の関係で招 ある。北一女のマーチングバンドは世 度か訪問し、北一女とは良好な関係に その後も、協会は会長以下が台湾を幾 交流や修学旅行での交流が始まった。 めて行った。これにより、両高の授業 着物着付け研修セミナー開催は、さら

③建築技師篠原武男

男を紹介したい。 北一女に関連して、建築技師篠原武

設計・工事監督した。 した旧第一高等女学校(現北一女)を て活躍、昭和5年(1930)に完成 れで、知覧に在った薩南工業に学び、 台湾に渡って台北州庁で建築技師とし 彼は、鹿児島県川辺郡下山田の生ま

ス、結婚の仲人を務めた。 先輩として田代邑二、大山勇傳、大山 盛の就職の世話、仕事面のアドバイ 篠原は台湾台北市にあって、郷里の

物は今でも使用されている。これは鹿 工事監督した台北に現存する台北第一 建築史に名を留めているが、彼の設計、 学校の設計、工事監督に携わり、台湾 高等女学校と台北第三高等女学校の建 彼は、総督府台北州建築技師として

省に入省、退職後は税理士。 婿。台湾総督府に勤務、帰国後、 大山一盛・・私の父で田代邑 二の妹 大蔵

文を発表した。

湾生の日本人にとっては有難いことだ。 府団体により保存・公開されていて、 職員名簿、台湾建築学会の論文は、政 これらは旧台湾総督府・台北州庁の

④本番前贈物交換

物交換が行われた。 一女・楊世瑞校長との再会の挨拶と贈 開催に先立ち日本側・田代会長と北

側からマグカップが参加者に贈られた。 日本側からは、着物と帯一式、台湾

⑤研修セミナー風景

て講師の帯締めを受けていた。 校生は緊張しつつ、しかし、興味をもっ 野紫虹先生と六名の着付け講師の先生 方で行われた。モデルとなった10の高 研修セミナーは、紫虹流紫虹会・星 児島県人としての誇りであり、保存に

昇降機、台湾地震、請負制度などの論 当時の台湾建築学会で、空調・冷房、 劇場、役所の建築に携わる。 努力される台湾の方々に感謝したい。 庁で建築技師として台北市の小学校 して公共施設、映画館の建築に従事。 田代邑二・・田代会長の父、台北州 大山勇伝・・台北州庁で建築技師と

大山公明 北村陽子 フリー・ライター(骨董縁起帳)、 北村夫人

7後記

らの誘いだ。台湾との友好親善のため、 後一回も行かないまま死んでしまうか 外旅行に行かなくなる。台湾には、戦 止めて年金暮らしになると、途端に海 出来てから、アメリカとヨーロッパに 戻って来た。近過ぎてなかなか訪れる 台北市に生まれ、22年ぶりに故郷に と思っていた矢先、従兄の田代実範か 14回も行ってしまった。 11才で仕事を に憧れたため、中年以降、ややお金が 事の無かった台湾。若い頃、アメリカ 私は、昭和14年(1939年)台湾

⑥参加者氏名

川添 ミチ子 実範

フォメーション協会 NPO法人ベーシックライフイン

萩原 星野 紫栄 さえ子 星野 紫有

半 八千代

装美着付研究会

北村友雄 元台北稲門会会長

ベティ・ブープ・コレクター

消防局捜救犬訓練中心で元気に暮らし

高雄市に寄贈した「小江」

は市政府

救助犬

小江

は元気に活躍しています

ていました。

6月27日、現地を協会田代理事長ら

開くと、当時希望に満ちた父母の写真 う。はてと思案したが、生まれ故郷の 次第である。 も出て来るし、よし行こうと決断した 台北が脳裏を横切り、古いアルバムを 詩吟と剣舞大会を台北で開催すると言

先生の「台湾の主張」(1999年刊) や、蔡焜燦の「台湾人と日本精神」 史と現状を知ろうと、古本屋で李登輝 出発までの短い期間だが、台湾の歴

> (2001年刊) を買い求め、 俄か勉

が達成されると、俄かに台湾を離れが の確認。次は、4才の頃病気で入院し の官舎のあった福住町の生まれた場所 出の場所巡りを行う。まずは、総督府 たく、台湾に対する愛着が深まる。 た台北病院を訪れること。二つの目的 台北に着くと、翌日から徒歩で思い 実は詩吟や剣舞、 着物の着付

> 日台親善に活躍されている方々を羨ま そして、日頃修練した特技を生かし、 わず嫌いだったことを反省している。 華ホテルでの公演を見て、その素晴ら けには興味が無かったが、北一女と福 しく感じるようになったのが、旅行後 しさに、今ではすっかり魅了され、食

意外と日本語を話す人が少ない事だ。 また、台湾を訪問して驚いたのは、

の率直な感想である。 る。又、何時の日か台湾を訪問するこ ている。台湾は、独立国として世界に 何とか、片言の英語で切り抜けたが、 安定と経済の発展を祈るばかりであ 認知されるよう頑張っているが、難し い状況である。台湾生の私としては、 台湾の独立を支持すると共に、政治の

私も台湾語を勉強せねばと思っ

とを楽しみにしている次第である。

逞しく成長したゴー

駆け回る姿も敏捷で、己の小屋に入っ ます。「小江」は体が逞しくなり、成 湾で暮らし始めてから1年1月になり とく我々に気付いて小屋の扉にとりつ 3名が訪問しました。 「小江」 は目ざ ないかと思いました。 犬になった感がしました。運動場内を たり出たり、終の棲家になったのでは したよ」と喜びの声をあげました。台 き前足を激しく動かして「待っていま

暑さに耐える生き方が求められますが は暑いところ、毛皮に包まれた体では 犬舎は風通しの良い屋根付きと屋根な きたあらわれに違いありません。高雄 1年余の訓練中心の生活が地について 生しているとのこと、安心しました。 隊長の話では元気で他の救助犬と共



再開を喜ぶゴ・



捜救犬訓練中心の訓練士と共に

表し別れました。 「謝謝」のことばと身振りで気持ちを

暑もしのげるだろうと感じました。

別れはつらいものです。鳴き声をあ

しの部分があって自由に動けるので猛

決めたことでした。 とがもっと判るようになりたいと心に 次回は汊語をものにし「小江」のこ

らいましたが中国語が話せない悲しさ、 した。駅まで小隊長が運転し送っても げるなか体をなでて、犬舎を後にしま

パネル展のお知らせ

展示期間は左記の通りです。展が開かれています。協会もこれに応募しました。練馬区立区民協働交流センターが主催するパネル

交通の西武池袋線、西武有楽町線、副都心線。会場のココネリ3階区民協働交流センター展示期間の八月二十一日から二十八日まで

下車徒歩2分(駅の隣のビル)都営地下鉄大江戸線

しています。 活動内容の紹介 ポスター、会報等を展示紹介

入場無料

会員募集のお知らせ

とわかります。
は左記までご連絡の上、お申し込みください。
は左記までご連絡の上、お申し込みください。
NPOの活動目的をご理解いただいた入会希望の方
別を募集しています。入会資格は特にありません。

電話 〇三一三九九六一〇一七七

ご参加をお待ちしています オール台湾デーが十月二十一日に開かれます。

その他の出し物を予定しています。映画 「「空を拓く~建築家・郭茂林という男~」、に練馬ココネリホールで開きます。当日は第二回オール台湾デーが十月二十一日(祝日・土)

■編集後記●

○今回ほど「特定非営利活動法人」であることが活動○今回ほど「特定非営利活動法人」であることが活動

○吟剣詩舞道大会運営は台湾側 企画者 檀上典子
 ○吟剣詩舞道大会運営は台湾側 企画者 檀上典子

○この一連の催事はすべてボランティアでおこないまの一連の催事はすべてボランティアでおこないま○この一連の催事はすべてボランティアでおこないま

本号にルポをお寄せ下さった寄稿者に感謝します。 ホームページ http//blia.jp がログ http//bli17blog.fc2.com/

各方捐款的獨立自主營運的志工團體。協會。同時是一個各項経費支出來自於會員會費及好交流為目的、(不定期)舉辦活動之NPO法人好交流為目的、(不定期)舉辦活動之NPO法人學親善友

本協会の構成員(会員及び応援団員)

監 埋 埋 埋 埋 事 事 事 事 事 長	岡村 星野 田中 依子 大世 田代 實範	说 光 依 智 實子 世 子 子 範	新成 隆 大野 博子 大野 神慧	博静つ世 隆子慧ぎ玲
埋事	田中	依子	王	静慧
埋事	星 野	光世	大野	博 子
事	岡 村	悦子	新 城	肇
監事	川添I	/ チ子	鳥羽	展維
	下里	凹郎	真島な	次美子
	郭	純	林	銀
	中尾	真理	蕭	玉蘭
	松浦	優子		

ベーシックライフインフォメーション協会 会報第13号 発行所 東京都練馬区石神井町 発行所 東京都練馬区石神井町 発行所 東京都練馬区石神井町 発行所 東京都線馬区石神井町 大―十二―三 電 話 〇三―三九九六―〇一七七 電 活 〇三―三九九六―〇一七七 電 活 〇三―三九九六―〇一七七